

# ごみ量減による効果について



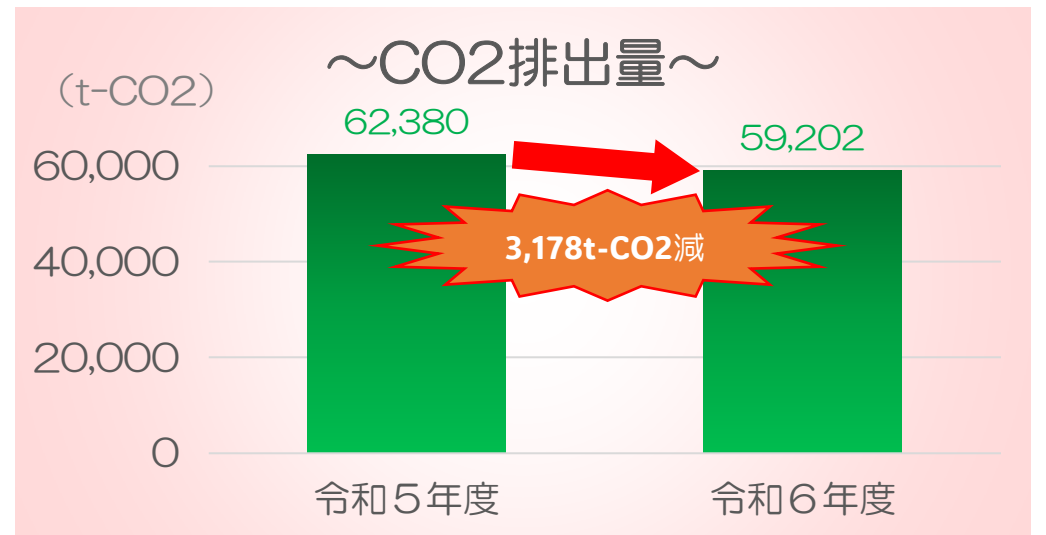
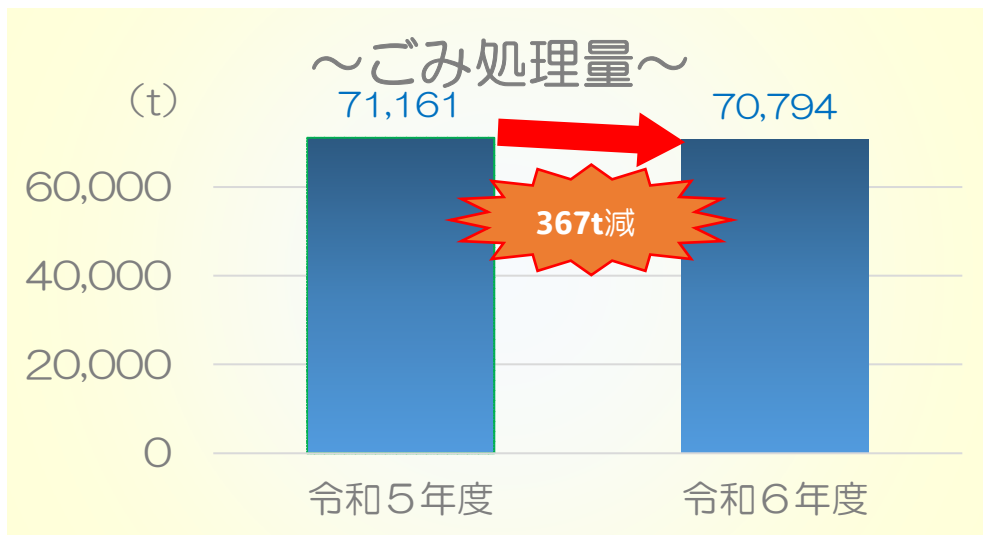
みつば博士

アキくん、広島中央エコパークではごみを処理しているけど、その時にCO<sub>2</sub>が出ているのよ。CO<sub>2</sub>は温室効果ガスだから、地球温暖化の原因になっているの。

そうなんですね。広島中央エコパークでは、どのくらいのごみを処理して、どのくらいのCO<sub>2</sub>が出ているんだろう？



アキくん

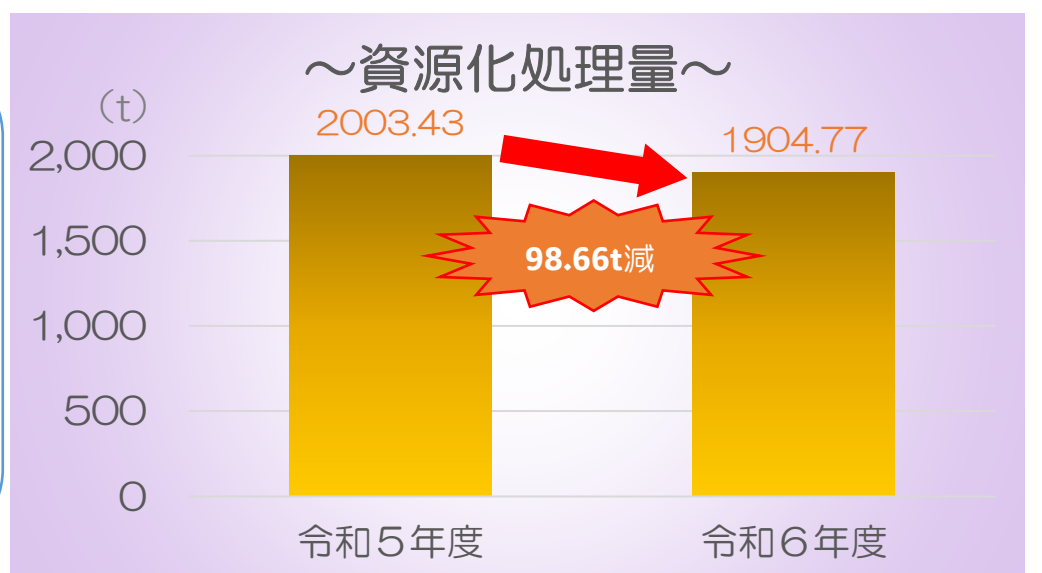


令和5年度より令和6年度の方が、ごみ処理量が367t減って、CO<sub>2</sub>排出量が3,178t-CO<sub>2</sub>減っているわね。  
ちなみに、1t-CO<sub>2</sub>は、1年間に約71本分の杉の木が吸収する量になるの。そうすれば・・・



なんと、1年間に約225,638本分の杉の木がCO<sub>2</sub>を吸収することと同じですね！  
他にも何かいいことはありますか？

ごみを処理して出てくる飛灰を集めて資源化処理しているのだけど、ごみ処理量が減ることで、飛灰の資源化処理量も減るの。飛灰の処理量は、令和5年度より令和6年度の方が、98.66t減っているのよ。これにより、約935万円の処理費用が減っているの。



ごみ処理量が減ることで、CO<sub>2</sub>排出量や処理費用によい影響があるんですね！ごみを減らすために、みんなでできることを頑張っていきましょう！

